

こどもの病気 「溶連菌性咽頭炎」

小児で、のどが腫れる病気の代表といえます。検査で、診断することができますが、抗生剤を飲んでいて、検査をしても、わからなくなってしまうことがあります。

- 原因：A群β溶血性連鎖球菌の感染です。潜伏期間は2～3日です。
- 症状：熱が出て、のどが痛みます。扁桃腺（へんとうせん）が真っ赤に腫れます。1～2日後にかゆみのある、赤い細かい発疹がでて、全身に広がります。舌に真っ赤なイチゴのようなぶつぶつが出てきます。熱が下がると手足の皮膚がぼろぼろむけることがあります。
- 治療：抗生剤（ペニシリン系が使われることが多い）を服用します。のどの痛みがひどい場合や、かゆみのある場合などは、症状に合わせたくすりが必要です。

（治療については、お医者さんの判断によりちがいます。ここには一般的なものを記載しています。）

- 病院に行くタイミング：2日たっても熱が下がらないとき。のどの痛みがひどく水分が取れなくなったとき。
- いつから学校（保育所など）にいったいいい？：抗生剤を飲み始めて、24時間経っていたらほかの子にうつすことはありません。本人の体調をみて、行かせてあげてもかまいません。でも、熱があったり、しんどそうだったら、やめてくださいね。
- 予防：外から帰ったらうがいをしましょう。
- おうちでできること：

休む・・・家でゆっくりしていきましょう。

ごはん・・・のどの痛いときは、無理に食べる必要はありませんが、水分はしっかりととりましょう。

お風呂・・・熱が高くなければ、入ってもいいでしょう。

くすりを飲み始めると、1～2日で熱が下がり、のどの痛みも消えます。でも、途中でくすりをやめてしまうと、再発することがあります。また、急性の腎炎や、リウマチ熱を合併することがあるので、菌が完全になくなるまで、10日間くらいは抗生剤を飲む必要があります。ちゃんと治しましょう。また、家族にもうつります。兄弟や、お父さんお母さんにも同じような症状があれば、受診しましょう。

今回のおはなし 「抗生剤」

私たちのからだには、白血球やリンパ球といった病原体をやっつけようとする免疫力ががあります。免疫力よりも、病原体の力のほうが強ければ、どんどん増えていって暴れだし、病気になってしまいます。病原体には、細菌とウイルス、それにその間の大きさのもの（クラジミアやマイコプラズマなど）があります。抗生剤はウイルスには効きません。また、細菌の種類によって、効果のない抗生剤もあります。細菌にあった抗生剤を使わないと、意味がないのです。

細菌を完全にやっつけるためには、症状がおさまってから、しばらく飲ませる必要があります。お母さんの判断で中止せずに最後まで飲ませてくださいね。

抗生剤は、副作用として、ときに下痢をすることがあります。腸の中にもともといる「よい細菌」までやっつけてしまうからです。治療がおわればおさまりますが、気になるようならお医者さんに相談しましょう。抗生剤によっては、便や尿の色が変わるものもありますが、心配はいりません。

抗生剤を使いすぎて、抗生剤のきかない耐性菌がどんどん増えてきています。「かぜ」に抗生剤は効きません。お医者さんに「抗生剤を出して下さい。」というのはやめましょう。